

JLL、「Alpha Prime 東陽町」の売買取引を支援

東京 2024 年 7 月 4 日 – 総合不動産サービス大手 JLL（本社東京都千代田区、代表取締役社長：河西利信）は、ドイツの不動産投資ファンドのエイエム・アルファ・カピタルフェアヴァルトゥングスゲゼルシャフトmbH（AM Alpha Kapitalverwaltungsgesellschaft mbH、本社：ドイツミュンヘン、CEO：Martin Lemke、以下 AM アルファ）と三井物産リアルティ・マネジメント株式会社（本社：東京都千代田区、社長：大矢孝、以下 MBRM）との間の「Alpha Prime 東陽町」の売買取引において、アドバイザーとして支援をしたことをお知らせいたします。

「Alpha Prime 東陽町」は、東京都江東区に位置する 2024 年 1 月竣工の RC 造 10 階建、総戸数 174 戸の大規模新築賃貸マンションであり、建築物の省エネルギー性能を評価する BELS の最高ランクである 5 スターを取得済みの物件です。最寄り駅の東京メトロ東西線東陽町駅から徒歩 10 分に位置しており、東陽町駅から日本橋駅までは電車で約 7 分、大手町駅までは約 9 分と、交通利便性に優れており、都心部に通勤する層（単身者及び DINKS）をターゲットとした物件です。

JLL キャピタルマーケット事業部チームヘッド高橋雅之は次のように述べています。

「レジデンシャルは、収益の安定性と足元の高い賃料上昇率を背景に国内外の投資家が強い投資意欲を持っているアセットタイプです。なかでも、環境・省エネ認証を取得している物件は現状多くありませんが、今回ヨーロッパの投資家である AM アルファ様が BELS の 5 スターを取得済みで希少性の高い本物件をご売却されるにあたり、この点を高く評価された MBRM 様組成ファンドの優良資産への投資ニーズとうまくマッチングさせることで取引が実現しました。この度、両社のご支援ができたことを嬉しく思います。JLL は今後も、レジデンシャルをはじめとした様々なアセットタイプについて、国内外の投資家の売買取引をご支援して参ります。」

JLL について

JLL（ニューヨーク証券取引所：JLL）は、不動産に関わるすべてのサービスをグローバルに提供する総合不動産サービス会社です。オフィス、リテール、インダストリアル、ホテル、レジデンシャルなど様々な不動産の賃貸借、売買、投資、建設、管理などのサービスを提供しています。

フォーチュン 500®に選出されている JLL は、世界 80 カ国で展開、従業員約 108,000 名を擁し、2023 年の売上高は 208 億米ドルです。企業目標（Purpose）「Shape the future of real estate for a better world（不動産の未来を拓き、より良い世界へ）」のもと、お客様、従業員、地域社会、そして世界を「明るい未来へ」導くことが JLL の使命です。JLL は、ジョーンズ ラング ラサール インコーポレイテッドの企業呼称及び登録商標です。jll.com

お問い合わせ：FGS グローバル(JLL 広報代理)

E メール：JLL-TYO@fgsglobal.com 長谷田 (080 9898 5591) 多田 (070 3857 8698)